



長門の話題 Topics

道の駅と海の駅の機能を併せ持つ施設は中国地方で初 センザキッチンが海の駅に

センザキッチンが「海の駅」として認定を受け、海の日にあたる7月16日(月)、認定証授与式が同施設で行われました。

海の駅とは、いつでも、誰でも、気軽に、安心して立ち寄り憩うことができる場所として設置された施設で、マリナーや公共の港湾施設の棧



▲出席者全員でくす玉を割り、海の駅の開業を祝った

橋にヨットやプレジャーボートを係留して食事や周辺の観光を楽しむことができる海の交流拠点です。センザキッチン海の駅は全国で166番目、山口県内では4番目の駅となりますが、道の駅と海の駅の機能を併せ持つ施設は中国地方では初となります。

認定証授与式では大西市長が「海の駅の認定を契機に海からも多くの人が訪れていただき、広く愛される施設にしたい」とあいさつ。九州運輸局下関海事事務所の松本信博所長は「地域と海、人と海を結び、レジャーや子どもの教育、地域の憩いの場として発展してほしい」と期待を述べました。

正式名称は「センザキッチン海の駅」となり、船舶係留は1隻で全長35フィートまで、喫水2.5メートルまで、水上バイクは不可となっています。

平和祈念展示資料館所蔵の品など105点を展示

シベリア抑留の軌跡を辿る

7月14日(土)、香月泰男美術館で「平和祈念展示資料館交流展」私のシベリア、それぞれのシベリア」が開幕しました。平和祈念展示資料館(東京・西新宿)所蔵の資料など抑留にまつわる作品を展示し、さまざまな視点から立体的に捉える試みがされています。会期は10月14日(日)まで。



▲平和祈念展示資料館の学芸員が展示品を解説

健康寿命を伸ばすため、市民総参加での健康づくりを 正しいラジオ体操を学ぶ

7月18日(水)、日置農村環境改善センターでラジオ体操講習会が開催され約30人が参加しました。講師を務めた山口県ラジオ体操連盟の吉野信朗会長が正しい動作や体操の効果、説明。講師の指導のもと、参加者は一つひとつの動作を確認しながら正しいラジオ体操を学びました。



▲誰でも気軽にできるラジオ体操

木育推進拠点施設としてオープンした長門おもちゃ美術館

入館者が1万人を突破

6月30日(土)、長門おもちゃ美術館の入館者が開館74日目で1万人を超え、記念のセレモニーが行われました。1万人目となったのは広島市在住の西橋克哉さん家族で、大西市長やNPO法人「人と木」の岩本理事長から記念品と花束が贈られました。



▲順調に入館者を伸ばすおもちゃ美術館

長門の People



長門のコミュニティにも積極的に参加を

小野 ゆきさん (ながとブルーエンジェルス／ニュージールランド出身)

昨年11月に誕生した女子7人制ラグビーチーム「ながとブルーエンジェルス」の一員として活動するニュージールランド出身の小野ゆきさん。チームメイトと同じく市内に在住し、練習に励んでいます。

「海がきれいで人々もやさしい長門市はニュージールランドに似ていて、とても過ごしやすい。よく大浜海岸に出かけてリラックスしています」と長門の印象を語る小野さん。日本語も英語も話せるので、チームの中での意見のまとめ役も担っており、

「日本人選手は英語を学びたいと思うているし、ニュージールランドの選手は日本語を学びたい」と思っていて、お互いにコミュニケーションをとってチームとして仲良くしたいという気持ちでとても強い」とチームメイトの様子を紹介。「チームの目標は優勝です。みなさんからのサポートをしっかりと感じていますので、結果を出せるよう頑張っています。ラグビーだけでなく、長門のコミュニティにも積極的に参加していきたい」と意気込みを語ってくれました。



▲子ども向けスポーツ教室の開催など、コミュニティへの参加も積極的

旬な人

幻想的なショーに魅了される

地域おこし協力隊津田隊員による自主企画

7月8日(日)、イタリアから来日したミケーレ・カファッジ氏によるシャボン玉アートショー「シャボン玉の世界のはじまり、はじまり」が長門市中央公民館で開催され、シャボン玉でオーケストラを表現する幻想的なパフォーマンスに観客は酔いしれ、大きな拍手を送っていました。



▲七色にきらめくシャボン玉に大きな歓声